

## 環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No	9	事例No	3	依頼者	日進市立東小学校	実施場所	日進市立東小学校
実施対象	小学4年生3クラス（115名）						
実施日時	令和3年10月20日（水）10時00分～13時30分（3クラス合同で実施）						
テーマ	地球温暖化にフォーカスを当て、学びを深める。						

### ●依頼内容

環境問題に関心を持ち、自分の知識や考えを広げたり、深めたりするための授業の講師を紹介してほしい。昨年度の依頼内容と同様に授業を進めてほしい。

### ●講師：原 理史 氏（中部地方 ESD 活動支援センター、中部大学国際 ESD-SDGs センター）

原氏は EPO 中部および中部大学中部高等学術研究所に所属するとともに、中部地方 ESD 活動支援センター担当責任者、名古屋産業大学大学院非常勤講師などを務めている。これまで、子どもから大人まで様々な年齢層を対象に、ESD をはじめとする環境問題に関わる各種講演会の実績があり、今回の依頼に適任と考えられ講師を依頼することとした。

### ●授業の内容

X 博士の質問	はじめに、「X 博士」に扮した講師からパワーポイントを使って、提示された行動が地球にやさしい（○）、やさしくない（×）、関係ない（△）のどれにあてはまるかを選択して回答するクイズが5問出題され、子どもたちは1人ひとり自分で考えて、○、△、×のエリアに移動して答えた。その後、なぜその行動が地球にやさしい、やさしくないと思うのかについて、子どもたちに考えを発表してもらった上で、正解の発表と解説が行われた。	25 分
標語とポスターの作成	「自分でできる地球にやさしいこと」をテーマに、自分たちはどのような取り組みができるかを考えて標語にまとめた。続いて、クラスごとに4人程度のグループに分かれ、グループのメンバーの標語の中から一つを選び、クレヨンを使って模造紙に文字やイラストを書き込みポスターに仕上げた。	40 分 (途中5分間休憩)
ポスターの展示と投票	仕上がったポスターを体育館の壁に貼り、みんなでポスターを見て回った。その上でそれぞれ好きなポスターを選んで投票した。	10 分
まとめと写真撮影	最後に、講師から投票結果の発表と講評が行われ、投票数の多い取り組みがよいわけではなく、すべてのグループが考えた取り組みが大切であることが強調された。また、世界中で取り組む、地球にやさしくするための17の目標・SDGs が紹介され、子どもたちに「SDGs 戦士」になってほしいと呼びかけがされた。	15 分

### ●授業の様子

授業は体育館で3クラス合同で行われた。X 博士からの質問には、子どもたちは地球にやさしい行動（○）、やさしくない行動（×）、関係ない行動（△）のいずれであるかを考え、元気よく○、△、×のエリアに移動して答えていた。ポスターづくりでは、グループで話し合い、協力しながら様々な色やイラストを使用して、わかりやすくまとめていた。ポスターが掲示されると、友だち同士でどのポスターのどのようところが好きなのかについて意見交換しながら投票していた。最後に、クラスごとにポスターの前でX 博士と写真撮影をして授業を終えた。

X 博士からの質問に挑戦した。



自分たちにできることをポスターにまとめた。

